

# クールジャパン戦略の 取組状況について

---

平成27年1月26日

内閣官房 知的財産戦略推進事務局

# クールジャパンに係るこれまでの取組

<p>情報発信</p>	<p>クールジャパン推進会議 (H25. 3~5)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ クールジャパン発信力強化のための方策を議論することを目的として開催。</li> <li>○ 「<u>クールジャパン発信力強化のためのアクションプラン</u>」(H25. 5) を取りまとめ。</li> </ul>
<p>国民的運動 の活性化</p>	<p>CJムーブメント推進会議 (第2期クールジャパン推進会議) (H26. 4~8)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「クールジャパンをデザインする」ことをテーマに開催。</li> <li>○ クールジャパンのミッション（「世界の課題をクリエイティブに解決する日本」）を達成するためのアイデア集として「<u>クールジャパン提言</u>」(H26. 8) を取りまとめ。</li> </ul>
<p>地方の 活性化</p>	<p>地方版クールジャパン 推進会議 (H26. 4~)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地方に眠るクールジャパン資源の発掘・発信を目的として、これまでに<u>4回開催 (@京都、松山、加賀、仙台)</u>。</li> <li>○ クールジャパン戦略担当大臣、会議開催地域においてクールジャパンの各分野（文化、食、コンテンツ等）に取り組んでいる有識者をメンバーとして、海外展開の成功事例や課題等について議論。</li> </ul>
<p>省庁間連携 プラットフォーム フォーム</p>	<p>クールジャパン関係府省 連絡・連携会議 (H26. 4~)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 以下の2点を目的として開催。             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「クールジャパン発信力強化のためのアクションプラン」のフォローアップ及び「クールジャパン提言」の具体化。</li> <li>・ 各省連携プロジェクトの創設。</li> </ul> </li> <li>⇒ 国際的に注目の集まる機会に、官民連携で日本の魅力を海外に発信する「ジャパンプレゼンテーション事業」を実施。             <ul style="list-style-type: none"> <li>ブラジルサッカーワールドカップに合わせ、リオにおいて「JAPAN OMOTENASHI PAVILION」を開催 (H26. 6~7)。日本食・食文化やアニメ・コミック等の紹介、和太鼓やボーカロイドライブ等を実施。</li> </ul> </li> </ul>



第4回「地方版クールジャパン推進会議」 (@仙台) の様子



ジャパンプレゼンテーション事業において開催した「JAPAN OMOTENASHI PAVILION」

## 「クールジャパン戦略推進会議」の立上げ（本年1月27日（火）第1回会合を開催予定）

### 【ねらい】

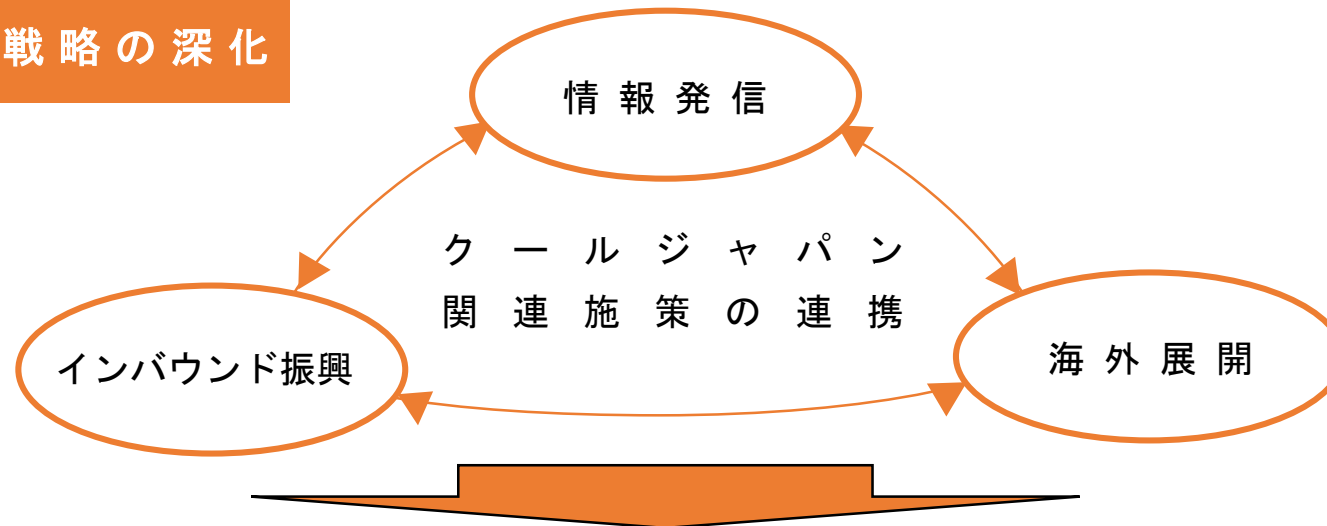
クールジャパン関連の事業・施策を俯瞰し、我が国として効果的に稼ぐための戦略を推進することを目指す。

### 【着眼点】

- ① 様々な分野を連携させ、一体的な海外展開を図る
- ② 地方のコンテンツ・商品の発掘、海外展開に留意する
- ③ 訪日観光客の誘致・消費拡大につなげる

※ 2020年東京オリンピック・パラリンピック開催までの期間とその後を見据えた戦略とする。

## クールジャパン戦略の深化



経済成長に資するクールジャパン戦略の推進

## 【構成員】

### ○ 政府メンバー

- ・ クールジャパン戦略担当大臣 <座長>
- ・ クールジャパン戦略担当副大臣<副座長>
- ・ 内閣官房副長官
- ・ 総務省、外務省、財務省、文部科学省、農林水産省、経済産業省、国土交通省の副大臣
- ・ クールジャパン戦略担当大臣政務官

### ○ 民間有識者

- ・ アストリッド クライン 建築家
- ・ 生駒 芳子 ファッション・ジャーナリスト／  
公益財団法人三宅一生デザイン文化財団 理事
- ・ 梅澤 高明 A.T. カーニー 日本法人会長
- ・ 大石 征裕 一般社団法人日本音楽制作者連盟 理事長
- ・ 亀井 智英 Tokyo Otaku Mode Inc. 共同創業者/CEO
- ・ 楠本 修二郎 カフェ・カンパニー(株) 代表取締役社長
- ・ 佐浦 弘一 浦霞醸造元 (株)佐浦 代表取締役社長／  
日本酒造組合中央会 理事 需要開発委員長

- ・ 高島 宗一郎 福岡市長
- ・ 高橋 智隆 (株)ロボ・ガレージ 代表取締役
- ・ 高橋 広行 (株)ジェイティービー 代表取締役社長
- ・ 田川 欣哉 takram design engineering 代表
- ・ ダニー チュー カルチャー・ジャパン プロデューサー
- ・ 玉沖 仁美 (株)紡 代表取締役
- ・ テイト クリストファー コネクトフリー(株) 代表取締役総合開発責任者兼CEO
- ・ トム ヴィンセント (株)Tonoloop Networks 代表取締役
- ・ 中川 悠介 アソビシステム(株) 代表取締役社長
- ・ 中村 伊知哉 慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科 教授
- ・ 夏野 剛 慶應義塾大学政策・メディア研究科 特別招聘教授
- ・ 福原 秀己 エース・プロダクション プロデューサー
- ・ 宮河 恭夫 (株)サンライズ 代表取締役社長
- ・ 渡邊 賢一 一般社団法人元気ジャパン ソーシャル・プロデューサー

### ○ 関係機関

- ・ 太田 伸之 (株)海外需要開拓支援機構(クールジャパン機構)代表取締役社長
- ・ 浜野 京 独立行政法人日本貿易振興機構 理事

# (参考1) 「クールジャパン発信力強化のためのアクションプラン」の概要 (平成25年5月)

## (1) 「トータルコーディネート」、「一緒に」

- ① 食（スイーツを含む）、ものづくり、コンテンツ等の幅広い分野の連携による発信
- ② 伝統文化やポップカルチャーとの融合を含めた日本発の芸術作品の海外発信
- ③ 平成24年度補正予算を活用した発信及び(株)海外需要開拓支援機構の有効活用により、インバウンドの推進につなげるサイクルの実現
- ④ 食や観光等の情報を放送やネットを通じて海外に発信する取組などの支援
- ⑤ 外国人に対し、日本産酒類の魅力を日本食と併せて発信

## (2) 「きっかけ」

- ⑥ 魅力的なロゴの作成など、「クールジャパン」を知るきっかけの発信
- ⑦ 総理大臣、クールジャパン戦略担当大臣などによる発信

## (3) 「みんなで」

- ⑧ 政府が一丸となって、「クールジャパン」の推進へ国民の広範な参加を促す
- ⑨ 人気投票によるポップカルチャーキャラクターの発信

- ⑩ 文化交流などにより、外国人の目から見た我が国の魅力を認識できるようにする

## (4) 「愛され方」

- ⑪ 「クールジャパン」と「ビジットジャパン」の効果的な連携
- ⑫ 海外での日本文化の好感度を高め、外国人の手による「クールジャパン」再発信につなげる

## (5) 「ストーリー」

- ⑬ 「日本遺産（仮称）」の創設等の文化財の活用

## (6) 「育てる」

- ⑭ ポップカルチャーの海外市場形成のための人財育成、日本文化ファンの日本招聘
- ⑮ 「クールジャパン」発信イベント等の支援、イベント参加に対する支援
- ⑯ 食の伝道師を育成し、日本食・食文化の普及・啓発
- ⑰ 日本文化・産品を集めた発信又はその支援
- ⑱ クリエーターが励みとなるような顕彰事業の充実
- ⑲ 海外研修、海外での交流、国際共同制作を通じた人財育成支援

## クールジャパンのミッション

「世界の課題をクリエイティブに解決する日本」

### ミッション実現のための3つのステップ (アクション)

#### 第1ステップ:「国内の成長を促す」



##### A. コミュニケーション能力の獲得

1. クールジャパン授業の実施
2. クールジャパン留学制度の充実
3. コンテンツの英語副音声同時放送の促進
4. 英語特区の創設

##### B. 障壁を取り除き、挑戦への気運の向上

1. 若者の積極登用や世代間継承の促進
2. クールジャパンへの意見の受け皿の創設
3. 規制緩和でクリエイティブを応援
4. クールジャパン知財相談センターの設立

##### C. 自由な挑戦や協働の応援

1. 省庁間連携新事業に挑戦
2. 省庁間の連携プラットフォームの推進
3. 企業内アントレプレナー支援
4. 課題に挑戦する100の新事業の応援

#### 第2ステップ:「国内と海外を繋ぐ」



##### D. 日本のパブリック・イメージ形成

1. 日本のブランドイメージの確立
2. 新しいコミュニケーションワードの作成
3. 「Designed in Japan」表示の普及
4. 調達の見直し

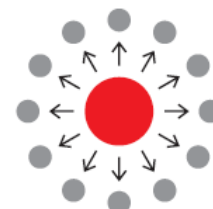
##### E. 日本のコンテンツ等の流動性向上

1. インバウンドポータルサイトの作成
2. 観光地サインの多言語化
3. 日本語コンテンツの翻訳支援

##### F. 海外の視点の取り入れ

1. 海外の視点を持ったパートナー100名指名
2. 世界で活躍する日本人のアンバサダー任命
3. 海外からの日本の見え方・期待の可視化
4. 外国人観光客のニーズ分析

#### 第3ステップ:「世界に役立つ日本へ」



##### G. 日本と世界の課題の自分ゴト化

1. 日本と世界の課題情報の可視化
2. 行政オープンデータの発信

##### H. 世界に貢献できる産業の推進

1. 課題解決産業とクリエイティブのマッチング
2. 世界に貢献するアイデアの事業化が起る環境整備
3. 課題解決ビジネスの海外展開の促進

##### I. 日本古来の哲学の発信共有

1. JAPAN LABOの創設
2. クラフトの国際祭典の日本開催
3. ジャパンデザインミュージアムの創設
4. 日本の情操教育の世界への普及

## (参考3) 地方版クールジャパン推進会議 (開催実績)

	第1回	第2回	第3回	第4回
場 所	京都府	愛媛県松山市	石川県加賀市	宮城県仙台市
日 程	H25.12.14(土)	H26.3.22(土)	H26.6.7(土)	H26.10.25(土)
会 場	宝蔵院書院	ひめぎんホール	九谷焼美術館	仙台国際センター
出席者	14名(大臣、副知事、京都市市長、食・ファッション・コンテンツ関係者、外国人等)	13名(副大臣、副知事、副市長、CJ機構関係者、食・コンテンツ関係者、外国人等)	16名(大臣、副知事、市長、CJ機構関係者、食・ファッション・コンテンツ関係者、外国人等)	16名(大臣、副知事、副市長、CJ機構関係者、食・ファッション・コンテンツ関係者、外国人等)
内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クールジャパン戦略紹介</li> <li>・意見交換</li> <li>・傍聴席からの意見・質疑</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意見交換</li> <li>・クールジャパン機構概要説明</li> <li>・傍聴席からの意見・質疑</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クールジャパン戦略紹介</li> <li>・意見交換</li> <li>・クールジャパン機構概要説明</li> <li>・傍聴席からの意見・質疑</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クールジャパン機構概要説明</li> <li>・意見交換</li> </ul>



「日本再興戦略」改訂2014 ー未来への挑戦ー (平成26年6月24日閣議決定) (抜粋)

第二 3つのアクションプラン

三. 国際展開戦略

(3) 新たに講ずべき具体的施策

②新たな政府横断的クールジャパン推進体制の構築

官民連携によるオールジャパン体制によりコンテンツ、文化芸術等の「日本の魅力」を効果的に発信し、産業化に結び付けていくことが重要である。このため、「クールジャパン関係府省連絡・連携会議」をプラットフォームとして、大規模国際イベントにおける発信事業、日本食・日本産酒類の海外展開、メディア芸術・現代アート of 創造・発信など、戦略的重要性の高いテーマ・分野を特定し、新たな各省連携プロジェクトを創出していくとともに、日本語教育の普及等も図りつつ、在外公館を活用した発信を強化する。また、クールジャパン機構によるリスクマネーの供給を呼び水として、海外における商業施設展開、コンテンツ配信等の事業に分野・業界横断的に取り組むとともに、放送コンテンツの継続的放送と連携して周辺産業の海外展開につなげるなど、新たな成功モデルの創出・展開を行っていく。あわせて、国際的な情報発信力の強化を図るべく、海外において発信力・影響力のある人の招へい、展示会場の新設・拡張の促進を行う。